

「ふるさと復興のつどい2016」について

平成28年4月

(公財) 福島県産業振興センター上海代表処
(福島県上海事務所)

平成28年3月11日、東日本大震災から5年を向かえたこの日、(公財) 福島県産業振興センター代表処(福島県上海事務所)は、中国各地の福島県人会と連携し、在上海日本国総領事館と共催で、「ふるさと復興のつどい2016」を実施しました。会場となった在上海日本国総領事館多目的ホールには、日本政府関係者、中国政府関係者、福島県関係者等50名の方にお集まりいただきました。



(福島県上海事務所長 十二所謙 挨拶)



(在上海日本国総領事 片山 和之氏 御挨拶)

震災で犠牲となった方々に哀悼の意を捧げるために黙祷を行うとともに、311と書かれた台の上にLEDのキャンドルを置くキャンドルサービスを行いました。

また、会の締めくくりとして、福島をはじめとした被災地の更なる復興を誓うため、参会者一同で「誓いの言葉」を読み上げました。



(黙禱)



(キャンドルサービス)

その他、会場では福島県等の観光パンフレットを配布し、東北の観光モデルコースをパネルにより紹介したほか、奥会津の著名な郷土カメラマンである星賢孝氏の写真展も開催しました。



(観光パンフレット等の配布)



(東北観光モデルコース紹介)



(星賢孝氏写真展)

国内外の関係団体からの多大なる御支援をいただき、着実に復興の道を歩む福島県ですが、その道のりはまだ遠く険しいものがあります。今回、5年という節目に関係者の方々と「ふるさと復興のつどい2016」を開催し、心を一つにできたことで、今後更に力強く進んでいくことができると考えています。